

## わこう★こども意見ぷらすリーダー第3回（報告）

&lt;1月13日（火）出席：高校生2名、大学生1名&gt;

## 2025和光市民まつりのヒアリング調査を実施して

## ★実際にこどもたちにヒアリングをした感想★

- こどもたちへの聞き方が難しいと感じた。
- アンケートの趣旨をしっかりと説明する必要があった。
- 小さいこどもや小学校低学年のこどもでも、自分の考えがあることを感じた。
- 言葉になかなかできなくても明確に自分の考えを持っていると感じた。
- 低学年のこどもにはアンケートの内容が難しいと感じたが、説明によりだいたい理解はしてくれた。
- 1人であるこどもより、集団で来場しているこどもの方が答えやすかったと思う。
- 和光市で遊んだり、勉強したり、休んだりする場所がないと言われたのがショックだった。自分はそんな居場所があったので、いろいろな居場所の情報をしっかり届けられたらいいと思った。
- 思ったより、和気あいあいとこどもたちが参加してくれた。

## ★今後の改善点の意見★

- 文字が小さく、遠くから見ていたこどもが見えずに時間がかかってしまった。検討  
します
- 中学生、高校生の意見が少なかった。上の世代にも答えてもらう工夫が必要だった。検討  
します
- 例えば中学生ボランティアを手伝ってもらうのもいいと思った。検討  
します
- ブースの中に入るのは勇気がいるので、もっとオープンな形で実施できたらいいと思った。検討  
します
- タイトルに「こども」という文字があると、小さいこども向けのものだと思ってしまう。ぱっと見て、中学生・高校生も対象であることが分かるような工夫が必要だと思った。検討  
します  
→ Ex.「学生」等の言葉を使う。
- 回答項目が多い中で3つを選ぶと、全てみる前に張り切ってしまう可能性があった。反映  
しました  
(→ヒアリング調査を受けてアンケート調査は「全て選択」とした。)
- 「休んだり」と「ほっとできる場所」は似ている気がする。反映  
しました  
(→アンケート調査では「遊ぶんだり、勉強したり、休んだりすること」を細分化し、「ほっとできる場所」を削除した。)
- シールを貼る形式だと、常に他の人の結果が見えるので、つられてしまう可能性もあった。検討  
します

## これまでの活動の振り返り

## ★こども・若者への情報発信について★

- こども・若者への周知は難しいと感じた。SNSも自ら市のページをみにいかない。
- 市長への手紙をこどもが書きやすい工夫をしてほしい。
- 中高生が行ける自習室を市のホームページで公表されていたことは知らなかった。
- YouTubeやSNSの活用を積極的にした方がよい。
- コスパがよいところやあまり知られていないお店の情報などをSNSで流してほしい。
- 何でもない意味のないような投稿に目を引くことがあるので実施してほしい。
- SNS戦略として、和光市はいい意味でこじんまりしているので、有益な情報のみを公式SNSで発信するのではなく、和気あいあいとした雰囲気の良いさをアピールするのも良いのではないかな。

## 自習スペースについて

- 中高生だけでなく自習スペースが欲しいのは高校生も同じ。
- 静かに集中できる場所（図書館等）と、飲食ができて少しゆったりしながら勉強できる場所の使い分けがしたい。
- 夕方になると図書館はいっぱい使えないことが多い。
- 市が自習スペースの一覧をホームページに挙げていることは知らなかった。

発信  
していきます

## 今後の子ども・若者への意見聴取のあり方

- 今は高校のインスタ等も生徒が運営していることもあるため、コラボしてみてはどうか。
- 北口開発について意見が言える場所が欲しい。学校にアンケートのQRコードが掲示してあったような気がするが、あまり目に留まらなかった。
- ホームページ等からのフォームを踏んで意見を言うのはハードルが高い。
- インスタのリプライ機能を使って意見聴取するのも手である。ハードルが低い。  
→リプライ機能だと、相手にはDMとして届くが、メッセージは公開されない。
- 駅前にのぼり旗を設置する、駅前で街頭演説を実施する等すれば、市民の関心を引くのではないかな。
- インスタのアンケート機能を使うのも気軽に答えられてよいと思う。

いいね

検討  
します

検討  
します

いいね

検討  
します

いいね

## 最後に参加証明書を授与しました



子どもあんしん部長から、  
参加証明書をお渡ししました。

※この日出席できなかった方にもお渡ししました。

～1年間の活動ありがとうございました～